

登録コード	A3591317	開講年度	2026					担当教員	喜井 勲
授業科目	プレゼンテーション演習 I								
英文授業名	Presentation I								
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期			対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素						⇔	【授業の達成目標】	
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ								
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している						⇔	・自分の研究分野に関連した学術論文をわかりやすく説明できる。 ・学術論文から自分の研究に活用できる内容を見つけ、その活用方法を伝えることができる。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している						⇔	・自分の研究分野が持続可能社会にどのように貢献できるのかをその背景などを含めて理論的に説明できる。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ								
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。						⇔	・自分の研究分野に関連した学術論文をわかりやすく説明できる。 ・学術論文から自分の研究に活用できる内容を見つけ、その活用方法を伝えることができる。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。						⇔	・自分の研究分野が持続可能社会にどのように貢献できるのかをその背景などを含めて理論的に説明できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	本授業では、自らの研究成果を書面もしくは口頭にて発表するスタイルを取り、実践的に技術を習得する。学生は、自らの研究成果、そこから導き出される結論、さらなる推進のための方策、もしくはその研究を行うにあたっての背景などを他者に誤解なく伝えることを前提としたプレゼンテーションを定期的に行う。その都度教員やスタッフよりフィードバックを受けることで自らの技術を高める。加えて、教員やスタッフ、もしくは外部講師のプレゼンテーションを聞くことで、良いプレゼンテーションとは何かを学び、自らに合ったプレゼンテーションのスタイルを確立することを目指す。								
(5)授業計画	(1) パワーポイントなどを用いたプレゼンテーション資料作成についての技術を習得する。 (2) パワーポイントなどを用いたプレゼンテーションでの口頭発表についての技術を習得する。 (3) 短い進捗報告のレポート作成についての技術を習得する。 授業の最終回に授業アンケートを実施する。								
(6)自主学習の指針	良いプレゼンテーションの7つのルールを以下に記載する。これらのルールを守ったプレゼンテーションを作成することを心がける。 (1) 自分のプレゼンテーションが他者を動かすことができるかを考える。 (2) 自分のプレゼンテーションがシンプルであるかを常に問う。 (3) 自分のプレゼンテーションに不必要な情報がないかを常に考える。不要な情報は捨てる。 (4) 最初の出だしが聴衆を惹きつけるものかを考える。 (5) 自分のプレゼンテーションが聴衆にとってわかりやすいかを考える。 (6) 発表までに入念に準備したかを自らに問う。 (7) しっかり発表練習したかを自らに問う。								
(7)成績評価の基準	学んできた専門的な知識を活用し、自らの研究成果を第三者に対して正確に伝えることができることを合格水準とする（可とする）。これに加え、シンプルに伝える、わかりやすく伝える、魅力的に伝える、第三者が実際に動く、などの項目を達成することで評価が上がる。								
(8)事前事後学習の内容	(4) 自学自習の方針に記載した内容を常に意識してプレゼンテーションの準備を行う。加えて、プレゼンテーション後の質疑応答に対応するため、想定問答を事前準備しておく。また、教員やスタッフ、外部講師の行うプレゼンテーションを積極的に聞きに行き、その良い点や悪い点をまとめ、自らのプレゼンテーションに反映させる。								
(9)テストやレポートの予定	なし								
(10)成績評価の方法	評価基準： S：90-100， A：80-89， B：70-79， C：60-69， D：59以下（不可）								
(11)質問、相談への対応および連絡先	研究室内にて随時対応する。								
(12)履修上の注意	特になし。								
【教科書】	特になし。								
【参考書】	必要に応じてウェブサイトや書籍（研究室にて保有）を随時紹介する。								